

人生ハンド仏句

第150号
H. 26. 9. 1
(毎月1日発行)

仏さまなのに

なぜこわい顔

してるの？

住職 谷川寛俊

お盆中に小学五年生の女の子から標題の質問を受けました。確かに仏さまみたいな顔というと、穏やかで温かみがあり、それでいてどこか威厳のあるいい顔を想像しますが、仏様の中には質問の様に恐ろしいお顔の方もいらつしやるのです。

仁王さまや不動様、愛染明王などがその代表ですが、これらの仏様たちは厳密に言えば、如来と呼ばれていて仏さまではなく、不動明王、愛染明王などと呼ばれている方で、仏教者(信仰する者)を御守りする神様です。相穏やかに話すばかりではなく、相

手や、時と場合によっては、声も大きく荒げ、拳を振り上げたり恐ろしい顔でにらみつけたりしなればならない時があります。明王とか〇〇神とか呼ばれている方たちは、ご主人である如来の使者となつて普通の方法では導けない者に対して、強い態度で仏様の教えに導いたり、また外敵を防ぐガードマンの役目をしておられるので、怖い顔をしているのです。

しかし、これら明王や〇〇神たちは、一見恐ろしい顔はしていますが、よく見るとその眼は、「いつまでもそんなことをしていないで、早く仏様の教えに従いなさい。もつとしっかりしなさい!」と心の底で涙をぬぐつて、叫んでおられるので、恐ろしさの中にも温かみを感じられます。

願いを聞いて下さるのも仏さまならば、願いを聞いて下さらないのも仏様の慈悲なのです。そして、叱り飛ばすのも仏様の本当のお姿なのであります。

仏道修行の一週間

26日	25日	24日	23日	22日	21日	20日
智慧	禅定	精進	お中日	忍辱	持戒	布施
仏道にめざめ正しい教えを学ぶ	心静かな落ち着き	たゆまぬ努力・続ける心	ご先祖供養・お題目の修行	苦しみに耐え正しい道を開く	決まりを守る・生活を正す	思いやりの心・奉仕する生活

彼岸会

「暑さ寒さも彼岸まで」昔の人は良く言ったもので、夏が過ぎ、涼しくなると「秋の彼岸」がやって来ます。お彼岸の一週間は、先祖を敬い、亡き人に供養を捧げると共に、善根を積み、仏道に精進する大切な日々です。迷う心を心身清浄にする一週間です。ぜひお題目を唱えて心を磨きましよう!

「人生ハンド仏句」と打ち込んで頂けば、ホームページにつながります。

編集・発行
玉蓮山 真成 寺
編集部 谷川久仁子
TEL・FAX 0765-22-2268

